



令和2年度 一般会計・特別会計決算額の内訳をお知らせします

財政課財政係（内線2424）

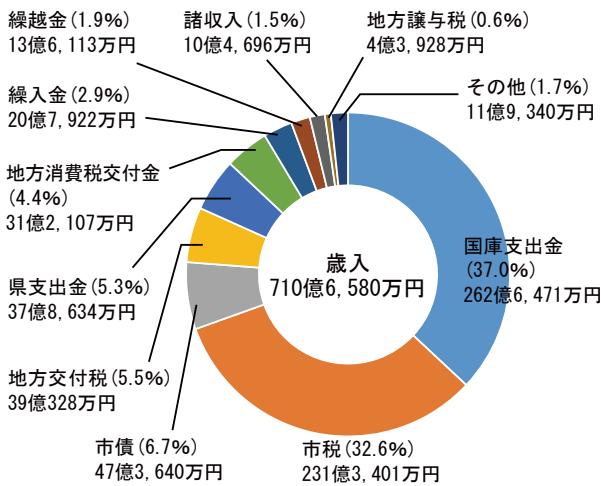
都市計画税の用途状況や社会保障4経費等を含めた決算の詳細、主な財政指標については、ホームページに掲載しています。なお、各会計の決算書については、公文書館、市立図書館でも閲覧できます。

令和2年度一般会計決算は、歳入決算額710億6,580万円、歳出決算額が686億4,351万円で、差引額は24億2,229万円でした。ここから、令和3年度へ繰り越すべき財源3億9,007万円を差し引いた実質収支額は20億3,223万円となりました。



※文章および表中の数値については端数処理の関係により、合計が一致しない場合があります。
 ※各項目は、表示単位未満の数値（円単位）を基に計算しているため、表示上の数値（万円単位）で算出したものと異なる場合があります。また、グラフの割合（％）は、小数点以下第2位を四捨五入しているため合計が100.0にならない場合があります。

一般会計歳入 710億6,580万円

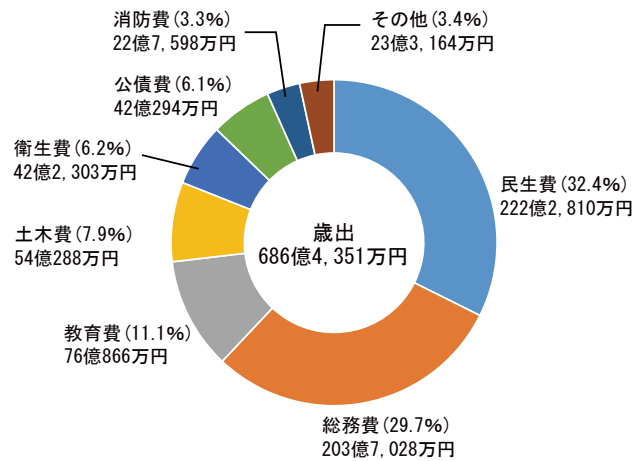


歳入の総額は、前年度比39.7%の増（+201億9,624万円）となりました。

国庫支出金が218.5%の増（+180億1,907万円）、市債が75.8%の増（+20億4,165万円）、繰越金が60.3%の増（+5億1,189万円）などとなりました。

また、市税は、市民税の減（△2億6,056万円）などにより、前年度と比較して0.3%の減（△7,866万円）となりました。

一般会計歳出 686億4,351万円



歳出の総額は、前年度比40.7%の増（+198億6,025万円）となりました。

民生費は、高齢者福祉費の増（+1億5,429万円）や児童福祉施設費の増（+4億2,195万円）などにより、前年度比5.9%の増（+12億3,390万円）、総務費は、特別定額給付費の皆増（+153億8,436万円）などにより、前年度比303.8%の増（+153億2,553万円）、土木費は、都市計画総務費の増（+4億7,849万円）や市街地管理費の増（+3億8,678万円）などにより、前年度比16.3%の増（+7億5,866万円）、諸支出金は、アセットマネジメント基金費の皆増（+5億1,615万円）などにより、前年度比1.0%の増（+630万円）となりました。

主な財政指標

	決算	目標 ※1	県平均	県市平均
経常収支比率	89.5%	90.2%	93.7%	94.2%
実質公債費比率	5.7%	4.7%	5.0%	4.8%
財政力指数	0.863		0.787 ※2	0.870 ※2

※1 第2次久喜市行政改革実施計画の数値目標です。
 ※2 財政力指数の県内平均値は、単純平均を掲載しています。

経常収支比率 税金など経常一般財源に占める、人件費や公債費などの経常的な支出の割合を表すもの。財政の弾力性を示した指標。

実質公債費比率 資金繰りのひとつの指標となるもので、一般財源に対する市債の返済等に充てた公債費などの割合を表すもの。

財政力指数 標準的な行政活動を行う財源をどの程度自力で調達できるかを示した指標。（1を超えるほど財源に余裕があるとされる）